

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

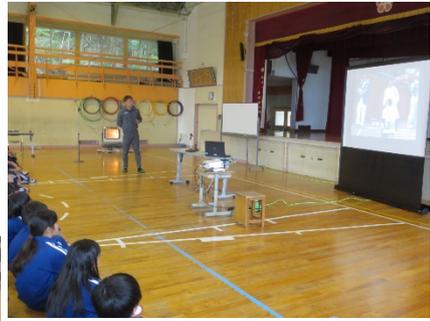
道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 いわき市立平第五小学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V
2 実施対象者 (学年・人数)	いわき市立平第五小学校 第6学年 112名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	1 オリンピアンのお話を聞くことで、日々の努力や目標を持って取り組むことの大切さを知り、何事にもくじけずにやりぬく心を育てる。 2 オリンピアンとのふれあい活動を通して、スポーツの意義や価値を理解し、オリンピックやパラリンピックへの興味・関心を高める。
5 取組内容	1 事前指導 (1) オリンピック・パラリンピックへの興味・関心に関するアンケート・Iの実施。 (2) 北京オリンピックの陸上、男子4×100mリレーの銀メダリストである塚原直貴さんを講師として招き、オリンピックについてのお話を聞かせていただくこと、一緒に体を動かすことで陸上運動の楽しさを体験することを伝える。 (3) 調べ学習（家庭学習） ① (北京) オリンピックについて ② 講師：塚原直貴さんについて 2 事業当日 (1) 講話「私にとっての陸上競技とオリンピック」 オリンピアン（塚原直貴さん）が、陸上競技をするうえで大切にしてきた勝負へのこだわりや仲間の大切さについて、また夢をもち努力することでかなえられたオリンピックという夢の舞台とメダルの獲得についてお話いただいた。

○パワーポイントを自ら操作しての講話

当時のオリンピックの映像を見ながら、塚原さんの活躍に改めて感動！



○メダル拝見

初めて見る本物のオリンピックの銀メダルに児童は興味津々。

(2) 質問タイム



陸上や野球をしている児童から、練習方法やメンタル面での質問がありました。どんな質問にも自分自身の経験に重ね合わせ、懇切丁寧な回答をしてくれました。

(3) スポーツ教室



とても寒い日でしたが、陸上運動をするうえで大切な脳神経系を鍛えるコーディネーショントレーニングを教えていただきました。また、最後はオリンピック VS. 6年生全員で50m走トライアルを行いました。全校生が見守る中、少し遅れてスタートした塚原さん。あっという間に全員を抜き去る圧巻のスピードに驚きの歓声があがりました。「本気で走らなきゃ、負けちゃうから。」というレース後のコメントにはオリンピックとしての威厳と風格が漂っていました。

	<p>(4) 写真撮影</p>  <p>3 事後指導</p> <p>(1) オリンピック・パラリンピックへの興味・関心に関するアンケート・Ⅱの実施。</p> <p>(2) 事業の振り返りと感想発表会（各学級にて）</p> <p>(3) 調べ学習（家庭学習）</p> <p>◎オリンピック・パラリンピックについて</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>○事業ではオリンピックの語る競技やオリンピックへの思いを食い入るように聞き、オリンピックという夢の舞台に心を揺さぶられた児童が数多く現れた。そして、かつて世界で戦いオリンピックの銀メダルを獲得した塚原さんの今なお躍動感ある走りとその速さを見てほぼ全員がオリンピックの偉大さに魅了された。</p> <p>○筑波大学への協力アンケートを見ると事後のオリンピックへの興味・関心は大きな高まりを示していた。また、児童の事後の感想文では「震災や台風に負けない気持ち」「仲間と励まし合いながら・・・」「夢をかなえたい」「東京オリンピックが楽しみになってきた」等があげられ、オリンピックやパラリンピックへの確かな意識の高まりを見ることができたと感じている。</p>
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>○6年生が陸上運動に興味をもって取り組んでいたことを核としてオリンピックの選定にあたった。</p> <p>○オリンピックを招くにあたり、市議会議員、市教育委員会の方々の力をお借りして、連携を図りながら進めてきた。</p> <p>○小学生の特性として講話だけでは退屈してしまうことが考えられたため、オリンピックと共に体を動かしてスポーツを楽しむこと、オリンピックの動きや速さから、その偉大さを感じる機会として、活動内容に実技を取り入れた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○講師の選定、日程調整、所属事務所との連絡調整が難しかった。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックが行われるせっきくの機会であるので、目標やねらいを達成させるためには、教育課程にしっかりと位置づけ、効果的な学習ができるような取り組み方をすることが望ましいと考える。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○今年度の経験を生かして、今後も機会を見つけ、どの学年にもオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高められるよう啓発していきたい。</p> <p>○可能であるならば、次年度もこの事業への参加を希望したい。</p>